

静岡県立三島北高等学校 令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

記録者 副校長

- 1 開催日時 令和5年5月26日(金) 9時30分から11時30分まで
- 2 開催場所 静岡県立三島北高等学校 応接室
- 3 出席者 (1)令和5年度 学校運営協議会委員(6名、敬称略)  
出席…浦川加代子、千葉愼二、土屋賢太郎、福田清一、山下聖秋  
欠席…清水晃  
  
(2)学校代表(4名)  
出席…高橋健二(校長)、勝間田浩文(副校長)、増田佳子(教頭)  
村松弘文(事務長)
- 4 議事(次第)
  - 1 学校運営協議会委員任命(任命状手交)
  - 2 校長挨拶
  - 3 出席者自己紹介  
  
校内見学(紫苑祭文化の部)
  - 4 学校運営協議会について(副校長)
    - (1)活動についての説明
      - ・「静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則・要綱」より、学校運営協議会の趣旨、3つの機能についての説明。(基本的な方針の承認、学校運営に関する意見の申出、に関する箇所の確認)
      - ・会議の運営、協議結果等の公表についての説明。
      - ・会長・副会長の選出・承認  
会長：千葉 愼二 委員  
副会長：山下 聖秋 委員  
学校から案を提示し、承認していただいた。
    - (2)令和5年度学校運営協議会日程(案) (学校運営協議会日程案を提示)  
第1回 令和5年 5月26日(金)  
第2回 令和5年 10月18日(水)  
第3回 令和6年 2月7日(水)

- 5 令和4年度学校経営報告書（自己評価）について（副校長）
- ・B評価の箇所を中心に説明
- イ：家庭学習時間が伸びないことが課題。キャリア教育に結び付けてモチベーションをあげ、家庭学習時間を増やしたい。昨年度から高校では観点別評価を行っている。生徒の評価をつけることで授業改善に結びつけていきたい。
- ウ：進路希望に関し早期の明確化を促す。そのためには授業や探究活動をとおし、生徒自身の生き方・在り方を考える機会を与え、自身の適性や興味関心を明確にし、進路目標の決定につなげる。
- オ：HPへの情報のアップをより一層充実させる。アフターコロナ後の今年度は様々な教育活動をもとに戻し、例年に近い形で実施できる。地域とのかかわりも増えてくる。内容についてはHPでアップする。
- カ：教員の業務の多忙化の解消を目指す。真に必要な教育活動を精査し、業務改善に努める。各自で日々の勤務時間を確認し、自己の働き方を認識し、改善を促す。
- 6 令和5年度学校経営計画について（校長）
- ・学校経営計画書についてスクール・ミッション、スクールポリシーを中心に説明
- (1) スクール・ミッションについて
- ・今まで行ってきた指定事業を生かしながら連携し、探究活動をしっかり行い、将来的には世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するというのが本校のスクールミッションとして定義である。
- (2) スクールポリシーについて
- ミッションを達成するために、そしてその人材を育てるために学校として何をしていくのかを3つにブレイクダウンしたものの。
- ・グラデュエーションポリシー  
卒業する段階でどのような資質を身につけさせるのかということが述べられている。自分をしっかりと鍛え、そして仲間と協力しながら、最終的には世界に貢献できるような人になってほしい。
  - ・カリキュラムポリシー  
そういった人材を育てるために教育課程がどうなっているかということがここでは述べられている。幅広く学習できる教育課程になっている。幅広く学習することで、大学入試に対応し、広い視野から判断できるようになってほしい。大きな流れとして教科指導と探究活動について力を入れてやっていく。
  - ・アドミッションポリシー  
そういった資質を身につけるのに本校としてどういう生徒を求めているのか、すなわち求める人物像というのがアドミッションポリシーに書いてある。本校の校訓「自立」校風「醇美」（飾らない美しさ）をしっかりと持ちつつ、社会のリーダーになろうとする志、社会にこのようなことをしてみたい、そういう志を持っている人が入学してほしい。将来社会に貢献する。そのために日々の努力を惜しまない、そういった生徒。後半は解決に向けて仲間と協働する。一人でなくてみんなと協力してやる。そういう姿勢のある生徒に入学してほしい。

全体的に見ると貫かれているのは個人としての資質をしっかり高めつつ、仲間と協力しながら協調性を磨いていき、常に課題意識を持ちながら、志を持って、ゆくゆくは世界に何らかの貢献をしよう、そういう人物を育てていくことが本校のスクールポリシーである。

(3) 令和5年度学校経営計画についての意見質問

- ・良い方向性であり、素晴らしい。
- ・大学ではなくその先の社会で活躍する生徒の育成を目指すところが良い。
- ・非常に高い理想が掲げられている。目の前の目的と社会的な活躍をつなげていくのは難しいが、本来は一本に貫かれるべきことであり頑張ってほしい。
- ・今日本の教育に求められているものがある。今までの流れから特色を突き詰めてほしい。広く社会、世界に視野を広げることは大切。探究を高校時代に経験できることは大変貴重なことである。
- ・3ポリシーがしっかり作られている。

意見交換後、令和5年度学校経営計画を承認していただいた。

7 学校の近況報告

- ・4月からの生徒の様子及び部活動の試合結果を報告した。

8 意見交換

- ・中学校の部活動は4時半から5時くらいには終わる。また、文化部が減ってきている。
- ・中学校の部活動は地域への移行を進めている。
- ・家庭学習を習慣づけることなど、中学で課題になっていることが高校でも課題になっている。
- ・インターネット中毒はメンタルヘルスの問題にもつながっている。使ってはいけない時間を家庭と連携しながら決めると良い。